

# 「長野ろうきんSDGs レポート」



長野ろうきんは、福祉金融機関としての役割発揮を通じ、SDGs実現に向けた事業運営に努めております。本レポートにおきましては、代表的な取り組み内容をご紹介します。

## 重点的に取り組む目標項目及び公表項目

長野ろうきんでは、中期経営計画第Ⅱ期(2022年度-2024年度)のテーマに掲げる“はたらく仲間の未来の安心をともに創る”の実現に向け、SDGs目標項目の中から「貧困をなくそう」「質の高い教育をみんなに」「働きがいも経済成長も」「パートナーシップで目標を達成しよう」の4項目を、重点的に取り組むSDGs目標項目に位置付けております。重点目標の4項目のうち、2項目4取組みに関しては、3カ年のKPI(重要業績評価指標)を定めた取組みを実施しております。

## 1 貧困をなくそう

### ① 高金利ローンからの借換え(3カ年KPI設定項目)

会員労働組合と協働して高金利ローンからの借換え提案に取組み、組合員の皆さまの可処分所得向上と多重債務の未然防止に努めております。

借換件数	3カ年 KPI	1,000件
	2022年度～2023年度上期	779件
	(うち2023年度上期)	246件



### ② 各種セミナー・学習会の実施(3カ年KPI設定項目)

お客様の生涯生活設計をサポートするため、資産形成・資産運用、社会保障制度等、多岐にわたる内容のセミナー・学習会を各営業店と本部で取組んでおります。

開催回数 参加人数	3カ年 KPI	800回 15,000人
	2022年度～2023年度上期	350回 5,666人
	(うち2023年度上期)	166回 2,585人



### ⑤ 子ども基金の取組み

長野ろうきんの各種ローンをご利用いただくことで、新設ご融資取引1件につき100円を長野ろうきんが拠出し、「長野県みらい基金」を通じて長野県内の子育て世帯の支援に取組む団体へ寄付しております。

寄付総額(累計)	2022年度寄付額	667,700円
	2023年度寄付額	4,904,060円

### ③ ライフプランシミュレーションによる個別面談の実施(3カ年KPI設定項目)

「人生100年時代」を応援するため、家計のキャッシュフロー表を作成し、お客様の「未来の安心」づくりに向けた提案を行っております。

実施回数	3カ年 KPI	7,000回
	2022年度～2023年度上期	4,543回
	(うち2023年度上期)	1,870回



### ④ ピンクリボン運動(わたしのミカタ ろうきんchou-chouハートフルプロジェクト)

長野県で暮らす女性がいつまでも健康でいられるよう、「わたしの積立ろうきんchou-chou」による年間のお積立合計額の0.05%と「ろうきんchou-chouローン」の年度末時点での利用残高の0.05%を長野ろうきんが拠出し、公益財団法人日本対がん協会「ほほえみ基金」に寄付しております。



寄付総額(累計)	2022年度寄付額	783,474円
	2023年度寄付額	13,305,330円



## 4 質の高い教育をみんなに

### ① 学生・キッズ向けセミナーの実施(3カ年KPI設定項目)

長野ろうきんでは、学生向けのマネーセミナーを毎年実施しております。学生の頃から、お金に関する知識を得ることは、若い時から資産形成に努める行動が期待できるとともに、マネートラブル(詐欺・多重債務等)から身を守ることもつながるものと考えております。

開催回数 参加人数	3カ年 KPI	40回 3,000人
	2022年度～2023年度上期	65回 2,752人
	(うち2023年度上期)	20回 623人



### ② ろうきん奨学会

ろうきん奨学会は、1967年に創立15周年の記念事業として設立され、会員のお子さまに奨学金を無利子でご利用いただいております。毎年多くの応募者があり、会員・勤労者の方々の教育にかかる負担軽減につなげるための取組みとしております。



2022年度新規貸付件数	163件
奨学金総額(累計)	5,874件
貸付総額	5,591,400千円

## 8 働きがいも経済成長も

### ① 健康経営

長野ろうきんは、2023年3月、経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人2023(大規模法人部門)」の認定、及び優良な上位500法人のみに与えられる「ホワイト500」に2年連続で認定されました。引き続き職員が健康的に働くことのできる職場環境をつくり、職員の健康保持・増進に向けた取組みを行ってまいります。



### ② ディーセントワーク・女性活躍推進の取組み

長野ろうきんは、職員の仕事と子育ての両立に向けた積極的な取組みにより、優良な子育てサポート企業として認められ、2016年6月「プラチナくるみん」\*を取得しました。引き続き、全ての職員が働きやすい環境づくりを目指し、女性活躍推進や男性の育児休業取得の推進をはじめとした、さまざまな取組みを行ってまいります。



\*「次世代育成支援対策推進法」に基づき、一定の高い水準の子育て支援を積極的に行っている企業が、「子育てサポート企業」として厚生労働大臣から認定を受けた証です。

## 17 パートナーシップで目標を達成しよう

### ① 運営委員会自主活動・地域・社会活動の取組み

長野ろうきんの各営業店では、地域の皆さまとの交流を大切に、運営委員会を中心とした企画・運営による地域に根ざした活動を行っております。



\*運営委員会は、各営業店単位で構成され、各営業店における推進活動の中心的役割を担っています。

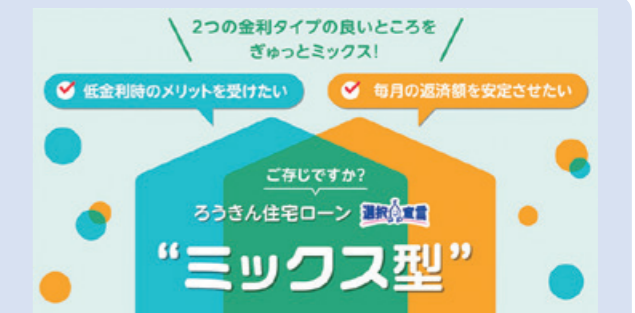
### ② NPOボランティア団体助成金(ろうきん安心社会づくり助成金)

長野ろうきんは、地域で様々な活動に取組まれているNPOやボランティア団体等への支援を行っております。

寄付総額(累計)	54,092,119円
2022年度寄付額	1,600,000円

## TOPIC 住宅ローン選択宣言「ミックス型」取扱い開始

長野ろうきんでは、2023年9月より、住宅ローン選択宣言「ミックス型」の取扱いを開始いたしました。「ミックス型」は「全期間変動金利型」と「全期間固定金利型」の2種類の金利を組み合わせて、両商品のメリットを同時に得ることができる新たな商品となります。



# はたらく人の「想」と生きる

## ろうきんの基本姿勢

ろうきんは

はたらく仲間がつくった  
金融機関です。

ろうきんは

営利を目的としない  
金融機関です。

ろうきんは

はたらく人目線で考える  
金融機関です。

(2023年9月末)

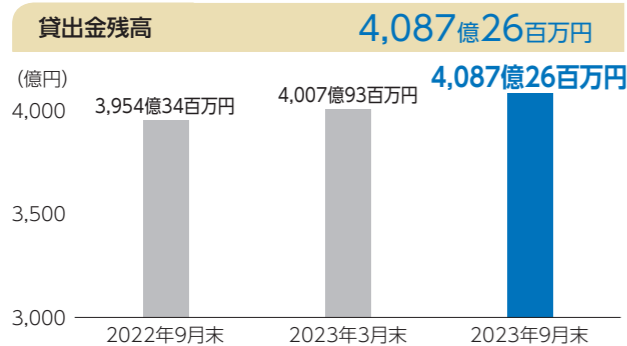
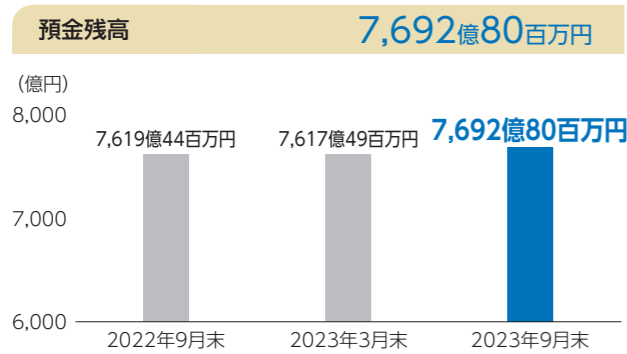
名称	長野県労働金庫 登録金融機関 関東財務局長(登金)268号
本店住所	長野県長野市県町523
電話番号	(026)237-3700
ホームページ	https://www.nagano-rokin.co.jp/
創立	1951年(昭和26年)12月
代表者	理事長 小池 政和

店舗数	20店舗(インターネット長野支店含む) 3出張所・9ローンセンター
常勤役員数	391人
団体会員数	1,622会員
間接構成員数	290,763人
出資金	2,431百万円

## 2023年度中間期における財務状況のご報告

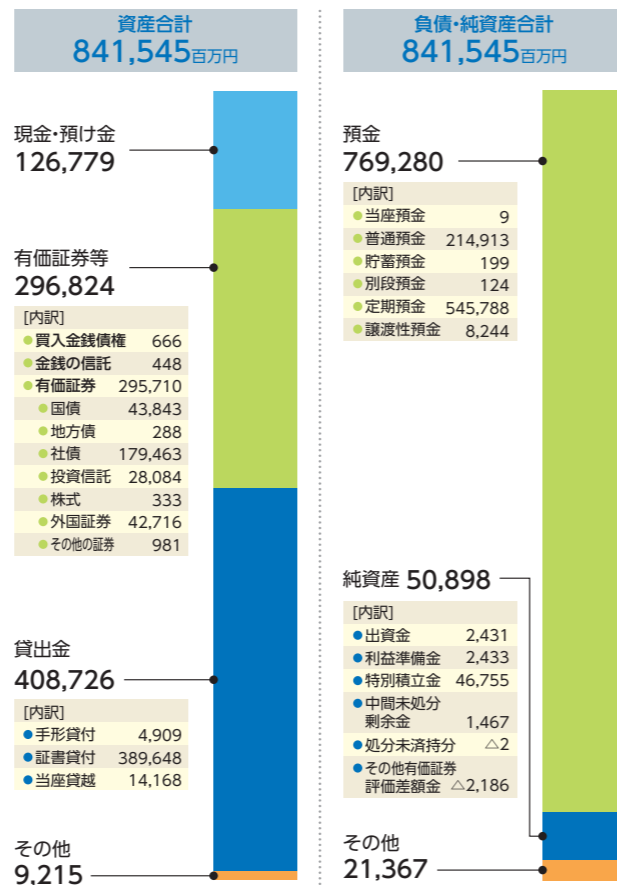
### 預金・貸出金残高の推移

預金残高は、前年度末比75億30百万円増加し、7,692億80百万円となりました。貸出金残高は、前年度末比79億32百万円増加し、4,087億26百万円となりました。



### 資産と負債・純資産の状況

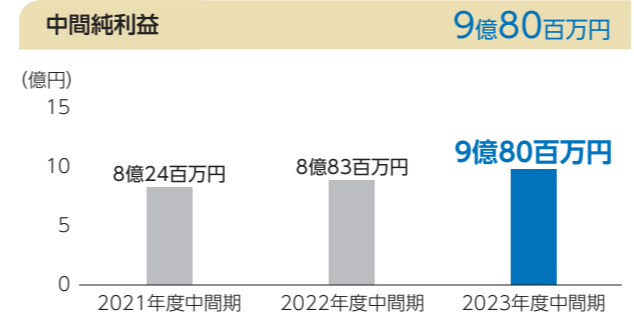
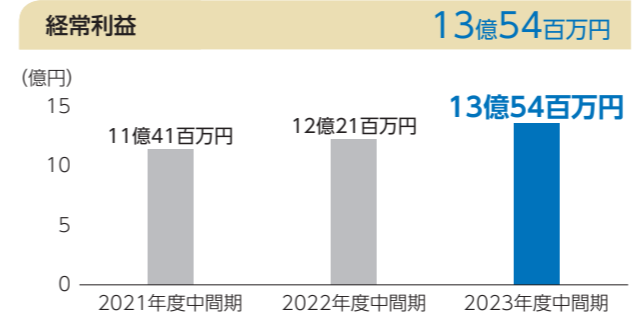
(単位:百万円)



### 利益の推移

経常利益は、経費の減少等により、前年同期比1億32百万円増加し13億54百万円となりました。

その結果、中間純利益は、前年同期比97百万円増加し9億80百万円となりました。



### 収益と費用の状況

収益		費用	
資金運用収益(貸出金利息など)	41億74百万円	資金調達費用(預金利息など)	1億45百万円
+		+	
役員取引等収益(受入為替手数料など)	1億37百万円	役員取引等費用(支払為替手数料など)	6億63百万円
+		+	
その他業務収益(債券売却益など)	5億29百万円	その他業務費用(債券売却損など)	90百万円
+		+	
その他経常収益	7百万円	経費(人件費・物件費など)	25億94百万円
		+	
		その他経常費用	1百万円
<b>経常収益</b>	<b>48億49百万円</b>	<b>経常費用</b>	<b>34億94百万円</b>
<b>① 経常利益 13億54百万円</b> →内訳 収益 - 費用			
特別利益	-1百万円	特別損失	0百万円
<b>② 税引前中間純利益 13億54百万円</b> →内訳 ①経常利益 + 特別利益 - 特別損失			
法人税、住民税及び事業税	3億73百万円	法人税等調整額	0百万円
<b>法人税等合計</b>		<b>3億74百万円</b>	
<b>③ 中間純利益 9億80百万円</b> →内訳 ②税引前中間純利益 - 法人税等合計			

### 不良債権の状況

不良債権は、何らかの理由により返済されない等の貸出金で、不良債権比率は、貸出金残高に対して不良債権がどれだけあるかを示したものです。長野ろうきんの不良債権比率は、極めて低水準を維持しています。

**不良債権比率 0.69%** (単位:百万円)

項目	2023年3月末	2023年9月末
労働金庫法及び金融再生法ベースの不良債権(A)	2,571	2,835
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	658	745
危険債権	1,818	1,903
要管理債権	95	187
三月以上延滞債権	91	187
貸出条件緩和債権	4	-
正常債権	398,489	406,179
総と信残高(B)	401,060	409,015
労働金庫法及び金融再生法ベースの不良債権比率(A)/(B)	0.64%	0.69%

\* 単位未満を四捨五入しています。

### 自己資本比率の状況

自己資本比率は、金融機関の健全性を示すひとつの基準で、法令で定められた指標です。国内業務のみを行う金融機関は4%以上であることが求められています。

**自己資本比率 10.84%** (単位:百万円)

項目	2023年3月末	2023年9月末(概算値)
<b>1.自己資本の構成に関する主な開示事項</b>		
コア資本に係る基礎項目の額(A)	52,112	53,089
コア資本に係る調整項目の額(B)	109	142
自己資本の額((A)-(B))(C)	52,003	52,946
リスク・アセット等の額の合計額(D)	477,526	488,276
自己資本比率((C)/(D))	10.89%	10.84%
<b>2.定量的な開示事項</b>		
信用リスクに対する所要自己資本の額	18,525	18,955
オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本の額	575	575
総所要自己資本額等	19,101	19,531

\* 当金庫では、中間期決算は法定化されておりませんが、内部規程に基づき、3月末末決算に準じた仮決算を行っております。上記2023年9月末の自己資本比率は、この仮決算結果に基づいて算定した概算値です。